

：

石川県中能登町

官民連携による
「道路公園等包括管理委託の構想について」



中能登町キャラクター「おりひめ」

中能登町 概要

人口 およそ 17,000人
面積 89.45km²



【名所・旧跡】

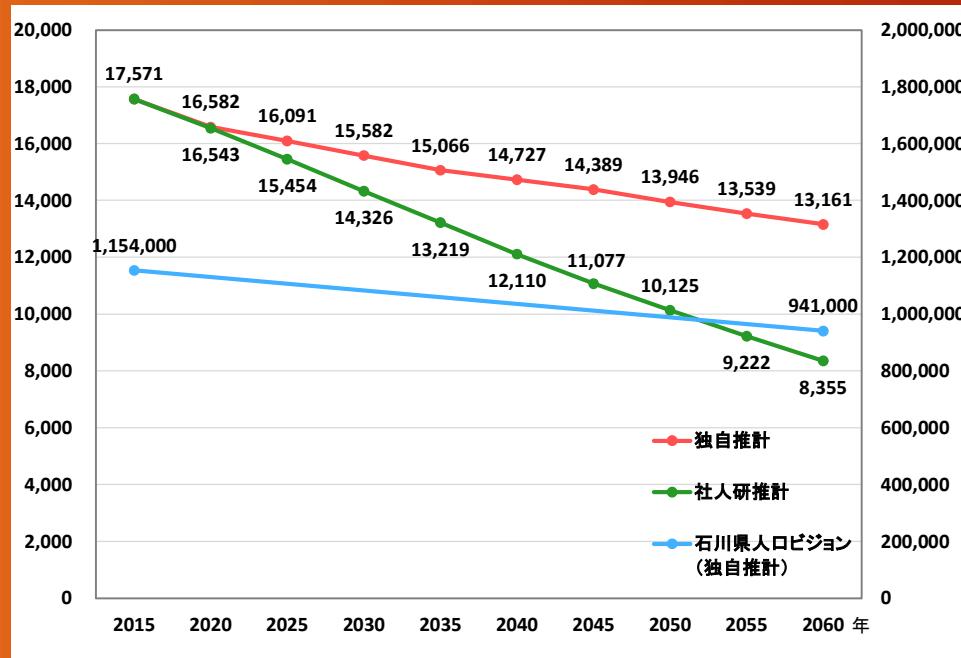
- 石動山(大宮坊、旧觀坊)
- 不動滝
- 雨の宮古墳群(雨の宮古墳公園)
- 川田古墳群(古墳公園とりや)
- 小田中古墳群
- 杉谷チャノバタケ遺跡
(日本最古のおにぎりが出土)
- 親王塚古墳(しんのうづかこふん)
- 道の駅織姫の里なかのと など

【特産】

「どぶろく特区」に認定され
農家民宿や農家レストラン
にて製造、提供される。



事業の背景



中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン

財政負担の軽減を図るため、公共施設・インフラの維持管理費を削減し、また、人口減少対策として子育て支援策の推進は必須です。

現状

町道路管理は、週に数回程度の巡回点検(パトロール)を実施しているが、損傷などの予知的な発見は困難であり、現実は事後対応となっている。

今後、よりきめ細やかな点検と道路損傷等の速やかな対応が必要と考える。

道路

町道路線数:1,020路線

町道延長 :400km

町道維持費:

約4,000万円/年

公園管理は、担当課が複数にわたっており、芝生管理は一括発注しているが、他の修繕などについては各担当課において対応している。また、遊具の老朽化が進み、修繕撤去で対応をしているが、町公園一体で考えると合理的な維持管理となっていない。

公園

古墳公園とりや:

55,600m²

レクトピアパーク:5,125m²

アッピー広場:33,360m²

維持管理費(17公園):

約12,500万円/年

「中能登町公共施設等総合管理計画」の基本的な方針において「カルチャーセンター飛翔」「ふるさと創修館」「まなびや館」の統廃合について検討する必要があり、遊休施設の有効活用が望まれる。さらに、子育て支援となる屋内公園機能の確保を目指す。

統廃合と有効活用

カルチャーセンター飛翔

延床面積:3,705m²

構造階数:RC2階

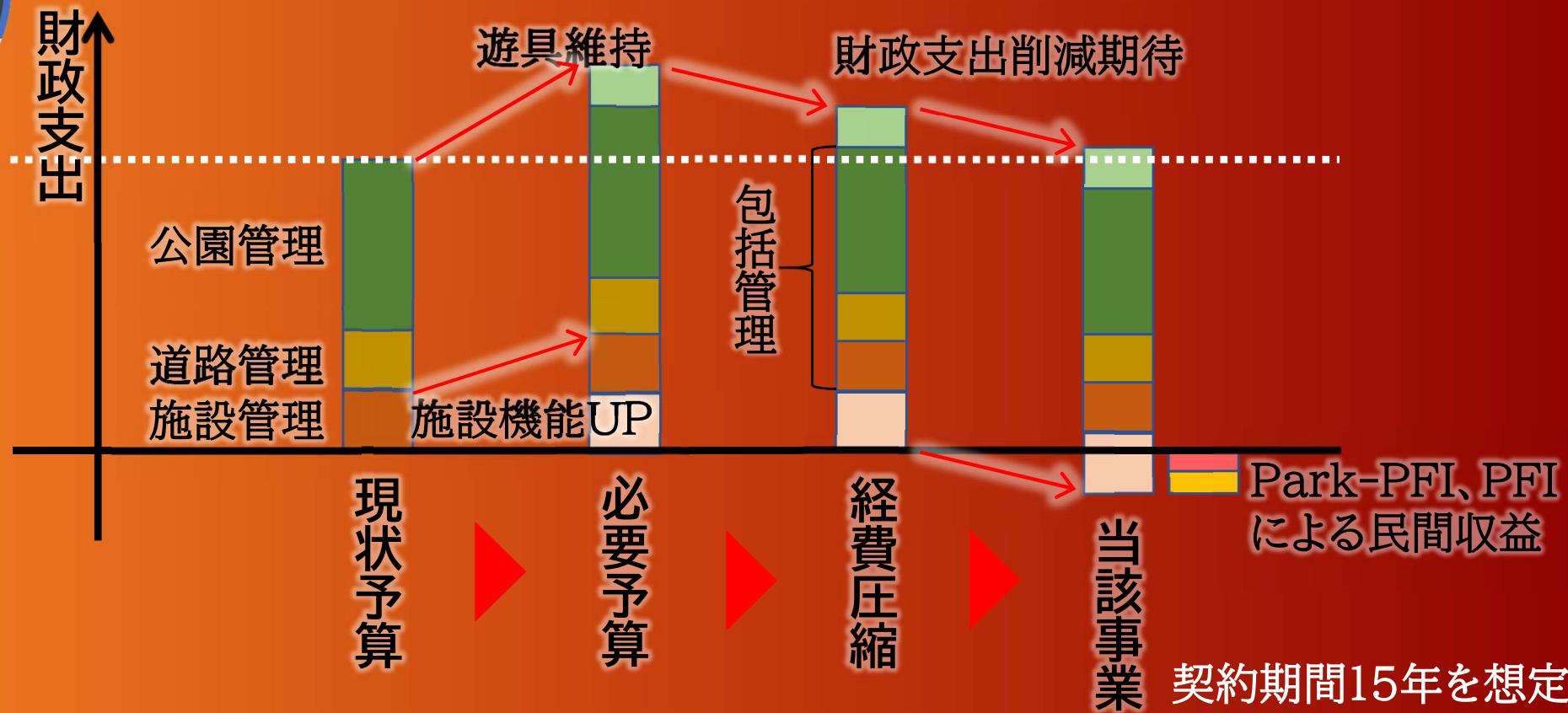
建築年度:平成8年度

維持管理費実績:

約1,500万円/年

施設管理上の課題

そこで



公共施設の健全な維持管理・運営を目指す

官民連携事業による
道路公園包括管理
+
公園の運営
+
カルチャーセンター
飛翔の有効活用

道路公園包括管理事業
Park-PFI事業
PFI(RO)事業

【道路・公園】

- ・ 巡回パトロール業務
- ・ 道路、公園・施設屋外照明灯巡回業務
- ・ 清掃業務
- ・ 道路台帳・公園台帳作成
- ・ 管理業務
- ・ 反射鏡・案内標識管理業務
- ・ 補修・修繕業務
- ・ 消雪ノズル・消雪さく井・設備点検業務
- ・ 除雪機械借上業務
- ・ 占用物件管理業務

道路・公園包括管理事業

Park-PFI事業

PFI(RO)事業

- ・古墳公園とりや
- ・レクトピアパーク
- ・アツピー広場



民間提案業務
(収益事業)

道路・公園包括管理事業
Park-PFI事業
PFI(RO)事業

カルチャーセンター飛翔

- 設計・改修・監理業務
- 開館準備業務
- 維持管理業務
- 民間提案業務(収益事業)

道路・公園包括管理事業

Park-PFI事業

PFI(RO)事業

対象施設位置図

